

# 昭和48年度 和歌山県文化奨励賞

やす だ はる ひこ  
保 田 春 彦

住 所：東京都世田谷区

出 身 地：和歌山県

生 年：昭和5年

## ◎業績及び経歴

那賀郡に龍門氏の長男として生まれ、昭和27年東京美術学校彫刻科卒業、昭和27年から昭和32年までの毎年日本美術院展に出品、奨励賞及び白寿賞を受賞。同32年科学技術庁主催のSTAC留学生試験に合格し渡仏、パリのグランド・ショミエール美術研究所、ザッキン教室に学び、同34年クリティック・シュス賞展で一席受賞、同年第1回パリ青年美術家ビエンナーレ展に出品、同35年からローマに移り同43年の帰国までローマ・ウィーン・シュトゥットガルトで個展、同40年東京の国立近代美術館で開催された「在外日本作家展」で初めてステンレスによる作品を発表。帰国後は箱根の現代国際彫刻展や神戸須磨離宮公園現代彫刻展に作品を発表、後者で大賞受賞。同46年第21回芸術選奨・文部大臣新人賞を受賞、またサンパウロ・ビエンナーレ展に選抜され、ビエンナーレ賞を受賞。その後も現代彫刻展や国際展に多数出品受賞している。和歌山にある作品としては、県民文化会館前庭のステンレス・オブジェや御坊市庁舎のステンレスによる「仰角のある立方体」等があり今後内外での活躍が期待される。現在武蔵野美術大学造形学部助教授。